



『セフトリアキソン Na 静注用 1 g「VTRS」』の供給状況について

セフェム系抗生物質製剤『セフトリアキソン Na 静注用 1 g「VTRS」』につきまして、2022年8月のDI Expressでお知らせしましたように限定出荷となっており、安定した入荷が厳しい状況が継続しておりましたが、このたび、急遽入荷が困難となったため、院内在庫が消尽の見込みとなりました。

対応策として、『セフトリアキソンナトリウム静注用 1 g「日医工」』が入荷されましたので、両社からの入荷量や院内の使用状況を鑑み、6月14日より『セフトリアキソン Na 静注用「VTRS」』はA-1病棟の限定使用とし、A-1以外では『セフトリアキソンナトリウム静注用 1 g「日医工」』を使用してください。

オーダーリング画面上は2銘柄併存することとなりますが、容易に区別できるようオーダー名の先頭に対象病棟を記載させていただきます。

<セフトリアキソン Na 静注用のオーダー名と使用場所>

(A-1) セフトリアキソン Na 静注用 1 g「VTRS」 → A-1 病棟

セフトリアキソン Na 静注用 1 g「日医工」 → 上記以外

イソジンシュガーパスタ軟膏(100 g)の供給状況について

褥瘡・皮膚潰瘍治療剤「イソジンシュガーパスタ軟膏(100 g)」につきまして、2023年12月のDI Expressでお知らせしましたように、限定出荷となっており、厳しい入荷状況が継続しております。

この度、製造販売元からの出荷と製造に遅れが生じ、出荷量がさらに減少するとの報告がありました。

本件を受け、当院においては購入できる限り処方オーダーを継続していますが、他社製剤を含め安定供給品が見つからず、院内在庫がなくなり次第、オーダーを一時停止せざるを得ない状況となりました。

そのため、当院においては6月13日より、オーダー単位を「本」から「g」に変更しました。

必要最小限のオーダーをしていただき、可能な場合は他の薬剤への切替や、漫然とした使用を避けるようお願いいたします。ご協力よろしく申し上げます。

今後の供給状況につきましては分かり次第、連絡いたします。

『アルプロスタジル注 10 μg シリンジ「科研」』オーダー停止のお知らせ

プロスタグランジン E1 製剤『アルプロスタジル注 10 μg シリンジ「科研」』につきまして、諸般の事情により販売中止となりました。それに伴い、当院在庫もなくなったことから5月17日より処方オーダーを停止しました。

なお、本剤の代替薬として『パルクス注ディスポ 10 μg』の処方オーダーを5月17日から開始しました。

「ジクアス LX 点眼液 3%」自主回収及びオーダー一時停止のお知らせ

ドライアイ治療剤『ジクアス LX 点眼液 3%』につきまして、一部の原料で製造した製品に銀の含有量が承認規格に適合しない結果が得られました。そのため、全ロットを回収及び出荷停止することとなりました。

回収対象ロットの銀含有量は承認規格を逸脱および逸脱する可能性があります、防腐効果を有する水準であることが確認されています。

該当ロットはすでに使用済みですが、本件に起因すると考えられる有効性の欠如、及び副作用発現の報告はありません。

全ロットの自主回収に伴い、5月23日より処方オーダーを一時停止しました。

【当院採用の代替候補薬】

ヒアレイン点眼液 0.1% ※限定出荷
レバミピド懸濁性点眼液 2%「参天」 ※限定出荷 院外専用薬

1回使い切りタイプ
ヒアレインミニ点眼液 0.1% ※限定出荷
ムコスタ点眼液 UD 2%

これら製剤に処方集中した場合には、処方の継続が困難となるため漫然とした使用を避け必要最小限の処方としてください。

今後の供給状況につきましてはわかり次第、連絡いたします。

『カルボシステイン錠 250 mg「サワイ」』の供給状況について

気道粘液調整・粘膜正常化剤『カルボシステイン錠 250 mg「サワイ」』につきまして、2023年11月にお知らせしましたとおり、他社製品の出荷制限や、新型コロナウイルス感染症の影響等、複合的な要因による需要の増加から、全国的に安定供給が厳しい状況となっております。

当院においては購入できる限り処方オーダーを継続していますが、他規格製剤を含め安定供給可能品が見つからず、厳しい入荷状況が継続しております。

現在、PTP包装品とバラ包装品を併存させ、欠品とならないよう対応しておりますが、入荷状況は改善せず、院内在庫がなくなり次第、院内処方オーダーを一時停止せざるを得ない状況です。

他の薬剤への切替や、漫然とした使用を避け必要最小限の処方をお願いします。状況によりましては、薬剤部から処方変更をお願いする場合があります。ご協力よろしく申し上げます。

今後の供給状況につきましては分かり次第、連絡いたします。

禁忌追加のお知らせ

☆追加部抜粋、下線部改訂

◎グルコンサンK細粒4 mEq/g(一般名:グルコン酸カリウム) <カリウム補給剤>

【禁忌】エプレレノン (高血圧症)、エサキセレノンを投与中の患者

※エプレレノンは適応が限定されました

◎リファンピシンカプセル150mg「サンド」(一般名:リファンピシン) <抗酸菌症治療薬>

【禁忌】レナカパビルナトリウムを投与中の患者

禁忌削除のお知らせ

☆削除部抜粋

◎リファンピシンカプセル150mg「サンド」(一般名:リファンピシン) <抗酸菌症治療薬>

【禁忌】エルビテグラビル・コビススタット・エムトリシタビン・テノホビル ジソプロキシルフマル酸塩を投与中の患者 (※販売中止のため)

販売中止のお知らせ

◎シュアポスト錠 0.5 mg(一般名:レパグリニド) <速効型インスリン分泌促進剤>

販売中止予定時期: 2024年11月頃

◎レパーサ皮下注 420mg オートミニドージャー(一般名:エボロクマブ(遺伝子組換え)) <高コレステロール血症治療剤>

販売中止予定時期: 未定

限定出荷等のお知らせ

下記薬剤について、限定出荷等の連絡がありました。今後の安定した供給再開の見込みにつきましては、分かり次第、連絡致します。

◎セフゾン細粒小児用 10%(一般名:セフジニル) <経口用セフェム系製剤>

◎カタプレス錠 75 µg(一般名:クロニジン塩酸塩) <高血圧症治療剤>

◎レベートルカプセル200 mg(一般名:リバピリン) <抗ウイルス剤>

◎カデックス軟膏分包 45 mg(一般名:ヨウ素) <褥瘡・皮膚潰瘍治療剤>

出荷量: C. 出荷停止 製造販売業者の対応状況: ⑤供給停止

◎ケブザラ皮下注 200 mg オートインジェクター(一般名:サリルマブ(遺伝子組換え)) <関節リウマチ治療剤>

◎ウロナーゼ静注用 6万単位(一般名:ウロキナーゼ) <線維素溶解酵素剤>

◎ジェブタナ点滴静注 60 mg(一般名:カバジタキセル アセトン付加物) <抗悪性腫瘍剤>

出荷量: B. 出荷量減少 製造販売業者の対応状況: ②限定出荷(自社の事情)

◎ケブザラ皮下注150 mg オートインジェクター(一般名:サリルマブ(遺伝子組換え)) <関節リウマチ治療剤>

◎ヒアレイン点眼液0.1%(一般名:精製ヒアルロン酸ナトリウム) <角結膜上皮障害治療用点眼剤>

◎レバミピド懸濁性点眼液2%「参天」(一般名:レバミピド) <ドライアイ治療剤> ※院外専用医薬品

◎パルクス注ディスポ 10 µg(一般名:アルプロスタジル) <プロスタグランジン E1 製剤>

◎ツムラ当帰芍薬散エキス顆粒 <漢方製剤>

◎ツムラ抑肝散エキス顆粒 <漢方製剤>

◎ツムラ麻子仁丸エキス顆粒 <漢方製剤> ※院外専用医薬品

出荷量: A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況: ②限定出荷(自社の事情)

◎ベタメタゾンリン酸エステル Na・PF 眼耳鼻科用液 0.1%「日点」(一般名:ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム)

<眼科、耳鼻科用合成副腎皮質ホルモン剤>

◎アイピーディカプセル 100(一般名:スプラタストシル酸塩) <アレルギー性疾患治療剤>

◎ポプスカイン 0.75%注 75mg/10mL、0.25%注 バッグ 250mg/100mL(一般名:レボブピバカイン塩酸塩)

<長時間作用性局所麻酔剤>

◎マーカイン注 0.5%(一般名:ブピバカイン塩酸塩水和物) <長時間作用性局所麻酔剤>

出荷量: A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況: ③限定出荷(他社品の影響)

◎ツムラ防風通聖散エキス顆粒 <漢方製剤>

出荷量: A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況: ④限定出荷(その他)

◎ポプスカイン 0.5%注 50 mg/10mL(一般名:レボブピバカイン塩酸塩) <長時間作用性局所麻酔剤>

出荷量: Aプラス. 出荷量増加 製造販売業者の対応状況: ③限定出荷(他社品の影響)

【参考情報】日薬連発第 297 号 『医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義と今後の情報提供について』
DI-EXPRESS (2022.7) の「限定出荷等のお知らせ」からも確認可能

『セフジニル錠100mg「サワイ」』自主回収のお知らせ

経口用セフェム系抗生物質製剤『セフジニル錠 100 mg 「サワイ」』につきまして、一部ロットにおいて、製造委託先の他社製造所で承認書記載の乾燥工程に加えて記載のない打錠用粉末の乾燥等を行ったことが判明し、該当ロットが自主回収となりました。

当院において、該当ロットはすでに使用済みですが、本件に起因すると考えられる有効性の欠如、及び副作用発現の報告はありません。

『アムロジピン OD 錠 2.5 mg「サワイ」』自主回収のお知らせ

持続性 Ca 拮抗剤/高血圧症・狭心症治療剤『アムロジピン OD 錠 2.5 mg 「サワイ」』につきまして、錠剤に印字のない製剤が含まれているとの報告がありました。有効成分や含量、また、品質にも問題がないことは確認されていますが、錠剤に印字がないことによる誤投与の可能性を否定できないことから該当ロットを自主回収することとなりました。

当院において、該当ロットはすでに使用済みですが、本件に起因すると考えられる有効性の欠如、及び副作用発現の報告はありません。

有効期限延長のお知らせ

◎バル筋注 100 mg「AFP」(一般名:ジメルカプロール) <重金属解毒剤>

有効期間: 4年 → 5年

限定出荷等解除のお知らせ

◎ツムラ五苓散エキス顆粒 <漢方製剤>

2024年5月中旬より限定出荷解除

◎ツムラ小青竜湯エキス顆粒 <漢方製剤>

◎ツムラ辛夷清肺湯エキス顆粒 <漢方製剤> ※院外専用医薬品

2024年5月下旬より限定出荷解除

◎マンジャロ皮下注 2.5 mg、5 mg アテオス(一般名:チルゼパチド)

<2型糖尿病治療剤(持続性 GIP/GLP-1 受容体作動薬)>

2024年6月4日より限定出荷解除

◎ネオドロール EE 軟膏(一般名:フラジオマイシン硫酸塩、メチルプレドニゾン) <眼科・耳鼻科疾患治療剤>

2024年5月17日より限定出荷解除

◎オクトレオチド酢酸塩皮下注 50 μ g、100 μ g「サンド」(一般名:オクトレオチド酢酸塩)

<持続性ソマトスタチンアナログ製剤>

2024年6月1日より限定出荷解除

◎ピリヴィジェン 10%静注 5 g/50 mL、20 g/200 mL(一般名:pH4 処理酸性人免疫グロブリン)

<血漿分画製剤(液状静注用人免疫グロブリン製剤)>

2024年4月より限定出荷解除

効能・効果、用法・用量改訂のお知らせ

☆追加部抜粋、破線部削除

◎プレバミス錠240 mg、点滴静注240 mg(一般名:レテルモビル)＜抗サイトメガロウイルス化学療法剤＞

【効能・効果】下記におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制
○臓器移植

◎ビラフトピカプセル50 mg(一般名:エンコラフェニブ)＜抗悪性腫瘍剤(BRAF阻害剤)＞

◎メクトピカプセル15 mg(一般名:ピニメチニブ)＜抗悪性腫瘍剤(MEK阻害剤)＞

【効能・効果】○がん化学療法後に増悪した*BRAF*遺伝子変異を有する根治切除不能な甲状腺癌
○*BRAF*遺伝子変異を有する根治切除不能な甲状腺未分化癌

◎キイトルーダ点滴静注100 mg(一般名:ペムブロリズマブ(遺伝子組換え))

＜抗悪性腫瘍剤(ヒト化抗ヒトPD-1モノクローナル抗体)＞

【効能・効果】○治癒切除不能な進行・再発の胃癌
○治癒切除不能な胆道癌

【用法・用量】＜治癒切除不能な進行・再発の胃癌＞

他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人には、ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）として、1回200 mgを3週間間隔又は1回400 mgを6週間間隔で30分間かけて点滴静注する。

＜治癒切除不能な胆道癌＞

ゲムシタビン塩酸塩及びシスプラチンとの併用において、通常、成人には、ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）として、1回200 mgを3週間間隔又は1回400 mgを6週間間隔で30分間かけて点滴静注する。

◎トレムフィア皮下注100 mgシリンジ(一般名:ゲセルクマブ(遺伝子組換え))

＜ヒト型抗ヒトIL-23p19モノクローナル抗体製剤＞

【効能・効果】乾癬性関節炎 ※「関節症性乾癬」を削除

◎ゾルゲンスマ点滴静注(一般名:オナセムノゲン アベパルボベク)＜脊髄性筋萎縮症治療剤＞※再生医療等製品

【効能・効果】脊髄性筋萎縮症(臨床所見は発現していないが、遺伝子検査により脊髄性筋萎縮症の発症が予測されるものも含む) ただし、抗AAV9抗体が陰性の患者に限る

包装変更等のお知らせ

◎生食注シリンジ「オーツカ」5 mL、10 mL、20 mL(一般名:塩化ナトリウム)＜生理食塩液＞

◎ヘパリン Na ロック用 10 単位/mL シリンジ「オーツカ」5 mL、10 mL(一般名:ヘパリンナトリウム)

＜血液凝固阻止剤 ロック用ヘパリンナトリウム液＞

キャップ及びガスケットを複数社から購入することに伴い、色味や使用感が若干異なる製品が納品されることがあります。品質には問題ありません。

例 生食注シリンジ「オーツカ」10mL



※10mL製剤は若干サイズが小さくなりますが使用に問題はありません。

適正使用のお願い

◎イミフィンジ点滴静注 120 mg、500 mg（一般名：デュルバルマブ（遺伝子組換え））＜抗悪性腫瘍剤＞

◎イジユド点滴静注 25 mg、300 mg（一般名：トレメリムマブ（遺伝子組換え））＜抗悪性腫瘍剤＞

イミフィンジ、イジユドの投与により、過度の免疫反応による副作用が疑われる場合は、適切な鑑別診断を行い、必要に応じて専門医と連携するなどして、イミフィンジ、イジユドの休薬/中止を含め適切な処置を行ってください。

- イミフィンジ、イジユドのT細胞活性化作用により、過度の免疫反応に起因すると考えられる様々な疾患や病態があらわれることがあります。
- これらの副作用の重篤化を防ぐためには、早期発見と早期治療が重要です。
- 他の要因（疾患進行、併用薬、感染症等）を除外するため、鑑別診断を行ってください。
- 自己免疫疾患の合併又は既往歴がある場合、自己免疫疾患が増悪するおそれがあります。
- 過度の免疫反応への対処は、必要に応じて専門医と連携し、イミフィンジ、イジユドの休薬/投与中止、副腎皮質ホルモン剤の投与、ホルモン補充療法、インスリン療法等の適切な処置を行ってください。
- 過度の免疫反応による副作用（1型糖尿病、甲状腺機能低下症を除く）がステロイド治療によっても症状が改善しない場合には、臨床試験実施時は免疫抑制剤であるインフリキシマブやミコフェノール酸モフェチル等の投与が設定されていました。なお、免疫関連の肝炎の治療には、肝毒性を引き起こす可能性があるためインフリキシマブを使用せず、ミコフェノール酸モフェチルの使用が推奨されてきました。本邦では、イミフィンジ、イジユド投与後に発現した副作用に対してのインフリキシマブやミコフェノール酸モフェチルは、いずれも保険未収載です。
- T細胞活性化作用の持続により、イミフィンジ、イジユド投与終了後も重篤な副作用があらわれることがあるため、イミフィンジ、イジユド投与終了後も観察を十分に行ってください。
- 過度の免疫反応による副作用の治療においては、「がん免疫療法ガイドライン」も参考にしてください。
- 本適正使用ガイドに記載されていない有害事象が認められた場合には、鑑別診断を行った上で、臨床試験実施時に用いた対処法をもとに設定した下表を参考にしてください。

表中の本剤は、イミフィンジ、イジユドをさす。

CTCAE v4.03	Grade1	Grade2	Grade3	Grade4
本剤の処置	投与継続	Grade1以下になるまで本剤を休薬	・Grade1以下になるまで本剤を休薬 ・事象の重篤性によっては投与を永久に中止	投与を永久に中止
対処法	副作用の程度に応じた対症療法を行う — プレドニゾン1~2mg/kg/日又は相当量を直ちに開始する ^{※1}			

※1：Grade1以下に回復した後、1ヵ月以上かけて副腎皮質ホルモン剤の用量を漸減する。本剤の最終投与後12週間以内に、副腎皮質ホルモン剤の投与量がプレドニゾン10mg/日以下の投与又は相当量まで漸減できない場合、又は再投与後にGrade3の有害事象が再発した場合は、本剤の投与を永久に中止する。

公知申請についてのお知らせ

◎リツキサン点滴静注100 mg、500 mg（一般名：リツキシマブ（遺伝子組換え））＜抗CD20モノクローナル抗体＞

【効能・効果】慢性特発性血小板減少性紫斑病（小児に適応追加）

【用法・用量】通常、リツキシマブ（遺伝子組換え）として1回量375 mg/m²を1週間間隔で4回点滴静注する。

麻薬は黄色のトレイ内で扱きましょう

麻薬は内服薬、外用薬、注射薬のいずれも黄色の専用トレイ内で扱うこととなっています。麻薬の紛失・破損を防ぐためにも徹底するようお願いいたします。

医薬品・医療機器等安全性情報 No.410

★薬剤により誘発される胃腸炎症候群について

厚生労働省では、令和6年5月8日にアモキシシリン水和物含有製剤の使用上の注意に「薬剤により誘発される胃腸炎症候群」に関する注意喚起の追記を指示する通知を発出した。本事象の詳細な発生機序は十分解明されておらず、アレルギー反応を起こすいずれの医薬品でも生じる可能性があると考えられる。医薬品による本事象が疑われる症例を経験した際には、「医薬品・医療機器等安全性情報報告制度」に基づき、医薬品医療機器総合機構にご報告いただく等のご協力をお願いする。

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>) 又は厚生労働省ホームページ (<https://www.mhlw.go.jp/>) から確認可能。

☆Drug Safety Update No. 326 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容
ビゾプロロール fumarate (ビゾプロロール fumarate錠「トリー」)、ビゾプロロール (ビゾプロロールテープ)	○共通 ※禁忌:削除 妊婦又は妊娠している可能性のある女性 ※妊婦：一部改訂 妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。投与に際しては、母体及び胎児の状態を十分に観察すること。また、出生後も新生児の状態を十分に観察し、新生児の低血糖、徐脈、哺乳不良等の異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。 妊婦にβ遮断薬を投与した場合に、胎児の発育不全、新生児の低血糖、徐脈、哺乳不良等が認められたとの報告がある。また、動物実験（ラット、ウサギ）で胎児毒性（致死、発育抑制）及び新生児毒性（発育毒性等）が報告されている（安全域 ^{注1} ：ラット胎児で58倍、ウサギ胎児で39倍、ラット新生児で19倍）。 ○ビゾプロロール fumarate 注）本剤の最大臨床用量の5mgと動物試験における体表面積換算した無毒性量（体表面積換算に基づく10等価用量）との比較による。 ○ビゾプロロール 注）ビゾプロロール fumarateの最大臨床用量の5mgと動物試験における体表面積換算した無毒性量（体表面積換算に基づく10等価用量）との比較による。

<p>カルベジロール(カルベジロール錠「トワ」)</p>	<p>※禁忌:削除 妊婦又は妊娠している可能性のある女性</p> <p>※妊婦:一部改訂 妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。投与に際しては、母体及び胎児の状態を十分に観察すること。また、出生後も新生児の状態を十分に観察し、新生児の低血糖、徐脈、哺乳不良等の異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。 妊婦にβ遮断薬を投与した場合に、胎児の発育不全、新生児の低血糖、徐脈、哺乳不良等が認められたとの報告がある。また、ラットにおける妊娠前及び妊娠初期投与試験において、体表面積換算で臨床用量の約150倍(300mg/kg)で黄体数の減少及び骨格異常(13肋骨の短小)の増加が報告されている。</p>						
<p>リバーロキサバン(イクザレトOD錠)</p>	<p>※禁忌:一部改訂 (効能共通) アゾール系抗真菌剤(イトラコザール、ホリコザール、ミコザール、ホサコザール、ケトコザール)の経口又は注射剤を投与中の患者</p> <p>※併用禁忌:一部改訂</p> <table border="1" data-bbox="427 763 1401 981"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>以下のアゾール系抗真菌剤(経口又は注射剤)(イトラコザール、ホリコザール、ミコザール、ホサコザール、ケトコザール(国内未発売))</td> <td>本剤の血中濃度が上昇し、抗凝固作用が増強されることにより、出血の危険性が增大するおそれがある。</td> <td>CYP3A4の強力な阻害及びP-糖タンパクの阻害によりクリアランスが減少する。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	以下のアゾール系抗真菌剤(経口又は注射剤)(イトラコザール、ホリコザール、ミコザール、ホサコザール、ケトコザール(国内未発売))	本剤の血中濃度が上昇し、抗凝固作用が増強されることにより、出血の危険性が增大するおそれがある。	CYP3A4の強力な阻害及びP-糖タンパクの阻害によりクリアランスが減少する。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子					
以下のアゾール系抗真菌剤(経口又は注射剤)(イトラコザール、ホリコザール、ミコザール、ホサコザール、ケトコザール(国内未発売))	本剤の血中濃度が上昇し、抗凝固作用が増強されることにより、出血の危険性が增大するおそれがある。	CYP3A4の強力な阻害及びP-糖タンパクの阻害によりクリアランスが減少する。					
<p>アモキシシリン水和物(アモキシシリンcap「日医工」、ワイトシリン細粒)、クラバン酸カリウム・アモキシシリン水和物(オーグメンチン配合錠、クラバモックス小児用配合トライシロップ)</p>	<p>※重要な基本的注意:一部改訂 ショック、アナフィラキシー、アレルギー反応に伴う急性冠症候群、薬剤により誘発される胃腸炎症候群の発生を確実に予知できる方法はないが、事前に当該事象の既往歴等について十分な問診を行うこと。なお、抗生物質によるアレルギー歴は必ず確認すること。</p> <p>※重大な副作用:追記 薬剤により誘発される胃腸炎症候群: 投与から数時間以内の反復性嘔吐を主症状とし、下痢、嗜眠、顔面蒼白、低血圧、腹痛、好中球増加等を伴う、食物蛋白誘発性胃腸炎に類似したアレルギー性の胃腸炎(Drug-induced enterocolitis syndrome)があらわれることがある。主に小児で報告されている。</p>						
<p>ホサコザール(ノクサフィル錠)</p>	<p>※禁忌:一部改訂 エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンピリン、ジヒドロエルゴタミン、メチルエルゴメリン、エルゴメリン、シバスチン、アトルバスタチン、ピモジド、キジシ、ベネクラス[再発又は難治性の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)の用量漸増期]、スポレキサト、ルシドン塩酸塩、ブロンセリン、トリアゾラム、リバーロキサバンを投与中の患者</p> <p>※併用禁忌:追記</p> <table border="1" data-bbox="427 1641 1401 1937"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リバーロキサバン</td> <td>リバーロキサバンの抗凝固作用を増強させ、出血の危険性を増大させるおそれがある。</td> <td>ホサコザールの併用により、CYP3A4が阻害され、またP-gpも阻害される可能性があるため、リバーロキサバンの血漿中濃度が上昇すると予測される。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	リバーロキサバン	リバーロキサバンの抗凝固作用を増強させ、出血の危険性を増大させるおそれがある。	ホサコザールの併用により、CYP3A4が阻害され、またP-gpも阻害される可能性があるため、リバーロキサバンの血漿中濃度が上昇すると予測される。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子					
リバーロキサバン	リバーロキサバンの抗凝固作用を増強させ、出血の危険性を増大させるおそれがある。	ホサコザールの併用により、CYP3A4が阻害され、またP-gpも阻害される可能性があるため、リバーロキサバンの血漿中濃度が上昇すると予測される。					

<別紙1>新規採用医薬品・削除医薬品等一覧

【1】新規採用依頼医薬品

①常備医薬品(合計7品目)

2024年6月11日オーダ開始予定

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
1	アイリーア78mg硝子体内注射液 131	硝子体内注射	114.3mg/mL	劇	145935.0	参天製薬	Aflibercept(Genetical Recombination) 眼科用VEGF阻害剤 ★中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫の治療 ★既存の抗VEGF薬に比べ、投与間隔の延長や黄斑浮腫の改善が期待できる。 投与回数の減少により、患者の経済的、身体的負担の軽減が期待できる。 ※常備医薬品でアイリーア硝子体内注射液40mg/mLの採用あり 【発売:2024年4月17日】
1	イオプロミド370注「BYL」 721	注	100mL	-	4370.0	バイエル薬品	Iopromide 非イオン性尿路・血管造影剤 ★造影CT検査における病変の検出と診断 ★非イオン性尿路・血管造影剤と同分類で、低浸透圧・低粘稠度を有する後発医薬品。 ★既採用の造影剤と成分が異なることから、副作用歴のある患者での副作用発現リスクを低減できる。 ★3つの国際他施設共同非介入試験統合解析(132,012例)での副作用は2.49%(3,283例)で、安全性も問題無いと考える。 ★先発品(フロスコフ)と同じ工場生産されており、原薬・添加物・製造方法が先発品と同一の後発医薬品。 ★生理食塩液と造影剤の同時注入による放射線部ワークフロー改善が期待できる。 【発売:2011年1月11日】
1	ウーベピ皮下注SD 249	皮下注	0.25mg	劇	1876.0	ノボルディスクファーマ	Semaglutide (Genetical Recombination) 肥満症治療剤(持続型GLP-1受容体作動薬) ★肥満症患者に対する体重コントロール ★日本国内において30年ぶりとなる肥満症治療剤。 これまで肥満症で悩まれている患者の内科的治療薬は一部の薬剤に限られていたが、本剤の発売により新たな治療選択肢が提供できると考える。 ★肥満症の東アジア人を対象とした臨床試験において、投与68週後にベースラインから体重を13.2%減少させ、82.9%の患者が5%以上の体重減少目標を達成した。 【発売:2024年2月22日】
1	エンタビオ皮下注ペン 239	皮下注	108mg	劇	69888.0	武田薬品工業	Vedolizumab(Genetical Recombination) 潰瘍性大腸炎、クローン病治療剤(ヒト抗α4β7インテグリンモノクローナル抗体製剤) ★中等症から重症の潰瘍性大腸炎の維持療法、中等症から重症の活動期クローン病の維持療法 ★ベドリスマブは潰瘍性大腸炎・クローン病の難治例に対する治療薬剤である。AGA Clinical Practice Guidelinesでは中等症から重症の潰瘍性大腸炎を有する成人外来患者において無治療よりも使用を推奨される薬剤のひとつとして記載があり、生物学的製剤未治療の当該患者にインフリキシマブ又はベドリスマブ使用が提案されている。 ★ヒトリンパ球上のα4β7インテグリンに特異的に結合し腸管選択的に免疫調節作用を示すと考えられる。 ★皮下注製剤は患者の点滴に関する時間や痛みの軽減に有用と考えられる。また、点滴製剤が必要とされている薬液調製のための人員や時間を削減できるとともに投薬時の過誤、微生物汚染、異物混入等のリスクを低減することが可能である。 ※常備医薬品でエンタビオ点滴静注用300mgの採用あり 【発売:2023年6月19日】
1	カザイハ点滴静注 429	点滴静注	1000mg	劇薬	458799.0	中外製薬	Obinutuzumab(Genetical Recombination) 抗悪性腫瘍剤(ヒト抗CD20モノクローナル抗体) ★CD20陽性濾胞性リンパ腫およびCD20陽性慢性リンパ性白血病に対する治療 ★CD20陽性濾胞性リンパ腫に対する標準的初回治療としてR-CHOP療法、BR療法など抗CD20モノクローナル抗体であるリツキシマブが使用されてきた。近年、リツキシマブとは作用点が異なる抗CD20モノクローナル抗体であるオビヌツズマブ(カザイハ)の有用性が報告され、従来のリツキシマブ併用化学療法よりも無増悪生存率が有意に改善することが明らかとなり、カザイハ併用化学療法が濾胞性リンパ腫に対する標準的初回治療となっている。濾胞性リンパ腫はB細胞性リンパ腫の中で頻度の高い病型であり、今後カザイハ使用例が増加することが見込まれる。 ※使用量が多いため臨時採用から常備へ 【発売:2018年8月29日】
1	ゾフルーザ錠 625	錠	20mg		2438.0	塩野義製薬	Baloxavir Marboxil 抗インフルエンザウイルス剤 ★2018年にゾフルーザが発売されたが耐性ウイルス出現した。 特に日本感染症学会は12歳未満の小児に対しては耐性ウイルスが出現しやすいため慎重投与を検討すべきと声明を出した。そのため12歳未満へのゾフルーザの処方は減少している。 そのため当院採用の10mg錠は小児への使用も検討した結果採用されたがほとんど処方されなくなった。 一方大人への処方は体重により40mg~80mg/日であるため10mg錠を4~8錠処方することになり、調剤薬局より20mg錠への変更以来の連絡が頻発するようになった。 ※常備医薬品でゾフルーザ錠10mgの採用あり 【発売:2024年2月20日】

1	フォセベル錠 219	錠	5mg		234.1	協和キリン	Tenapanor Hydrochloride 高リン血症治療剤 ★透析中の慢性腎臓病疾患患者における高リン血症の改善 ★本剤は腸管からのリン吸収を阻害する作用機序であり、既存のリン吸着薬とは異なる作用により高リン血症を改善する。透析患者は水分制限が必要であるがリン吸着薬をはじめとした薬剤の服薬錠数が多いことが課題である。 ★本剤は1日2回の用法であり、リン管理に必要な服薬負担を減らせることも期待できる。5mgは開始用量に設定されている。 【発売:2024年2月20日】
---	---------------	---	-----	--	-------	-------	--

④自由診療医薬品(合計2品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
4	ゴ-ビック水性懸濁注シリンジ	水性懸濁注	-	-	-	田辺三菱製薬	Adsorbed Diphtheria-Purified Pertussis-Tetanus-Inactivated Polio-Haemophilus type b conjugate Combined Vaccine ワクチン・キリト混合製剤 ★乳幼児定期ワクチン接種目的 ★現行の定期ワクチンの四種混合ワクチンが、2024年4月より五種混合ワクチンへ切り替えになるため、現行のトレビック(四混)と在庫が同時に存在することにあたって、「ゴ-ビック」という名称は、ぱっと見てわかりやすく、間違えにくい。 ★「ゴ-ビック」はシリンジ製剤で準備が簡単である。他社の「クアトロバック」は、製剤がハイアルとシリンジを混合する必要があることから、手順が煩雑である。 【発売:2024年3月15日】
4	シグレックス筋注用	筋注	-	劇	-	グラクソ・スミスクライン	Freeze dried recombinant herpes zoster vaccine prepared from Chinese Hamster Ovary Cells ウイルスワクチン類 ★帯状疱疹の予防 ★本剤は、従来の水痘・帯状疱疹生ワクチンでは接種不適当となる免疫機能が低下している患者に対しても摂取が可能であり、臨床的にも有用と考える。 ★接種対象の年齢について、生ワクチンでは接種対象とならない18歳以上50歳未満に対し、帯状疱疹に罹患するリスクが高いと考えられる場合接種が可能であり、臨床的にも有用と考える。 ★有効性が50歳以上対象で4年間のデータが97.2%、維持期間は10年間で89.9%の有効性を示すデータがあり、臨床的にも有用と考える。 【発売:2020年1月29日】

⑥臨時採用医薬品(合計4品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
6	シグニフォー-LAR筋注用キット 249	筋注	40mg	劇	351,593.0	レコルダティ	Pasireotide Pamoate 持続性ソマトスタチンアナログ マイクロスフェア型徐放性製剤 ★先端巨大症術後再発で、1世代のソマトスタチン受容体アナログを使用していたが効果がなく、病状が悪化。 ★2世代ソマトスタチン受容体アナログである本剤を緊急購入し使用したところ、成長ホルモンの分泌抑制と腫瘍の縮小を認めている。治療効果がある限り、永続的に使用。 ※緊急使用医薬品として購入歴あり 【発売:2016年12月2日】
6	ジルビスク皮下注シリンジ 399	皮下注	16.6mg	劇	67,763.0	ユーシーピー・ジャハン	Zilucoplan Sodium 全身型重症筋無力症治療剤(補体(C5阻害剤)) ★重症筋無力症の増悪に対して、既存治療で症状は改善傾向だが、球症状は残存。 ★今後、胸腺腫瘍手術予定で術後クレーゼのリスクが高く、ジルビスクを用いることでMG症状を改善を期待。 ※緊急使用医薬品として購入歴あり 【発売:2024年2年16日】
6	ゾコーバ錠 625	錠	125mg	劇	7,407.0	塩野義製薬	Ensitrelvir Fumaric Acid 抗SARS-CoV-2剤 ★COVID-19の治療 ★ゾコーバが2024年3月に通常承認となり、現採用区分の特例承認等医薬品に該当しなくなるため、臨時採用申請をする。 ★ゾコーバ錠はプラセボ群と比較して症状スコアに差を認めなかったがウイルス消失も早く忍容性も高かったと報告されている。ゾコーバ錠はリスク因子を持たないものの治療薬として位置づけられているがウイルス量の減少効果は最も高く周囲への感染伝播も抑制されると期待されるため 【発売:2022年11月23日(医療機関への供給開始)、2023年3月31日(一般流通による供給開始)】
6	リットフーロカプセル 399	cap	50mg	劇	5,802.4	ファイザー	Ritlecitinib Tosilate 円形脱毛症治療剤(JAK3/TECファミリーキナーゼ阻害剤) ★12歳以上の小児の円形脱毛症に適応のある唯一の経口JAK阻害薬で高い発毛効果が期待できる。 ※緊急使用医薬品として購入歴あり 【発売:】2023年9月27日

⑦院外専用医薬品(合計40品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
7	ウコービ皮下注SD 249	皮下注	0.5mg	劇	3,201.0	ノボルティスクファーマ	Semaglutide (Genetical Recombination) 肥満症治療剤 持続型GLP-1受容体作動薬 ★肥満症患者に対する体重コントロール ★日本国内において30年ぶりとなる肥満症治療剤である。これまで肥満症で悩まれている患者の内科的治療薬は一部の薬剤に限られていたが、本剤の発売によ
7			1.0mg		5,912.0		

7			1.7mg		7,903.0		り新たな治療選択肢が提供できると考える。 ★肥満症の東アジア人を対象とした臨床試験において、投与68週後にベースラインから体重を13.2%減少させ、82.9%の患者が5%以上の体重減少目標を達成した。 【発売:2024年2月22日】
7			2.4mg		10,740.0		
7	エナロイ錠 399	錠	2mg	劇	254.3	鳥居薬品	Enarodustat 腎性貧血治療剤(HIF-PH阻害薬) ★CKD患者における腎性貧血の治療 ★①HIF-PH阻害薬の中で唯一添付文書に肝機能に関する記載がないため、腎移植後の患者に処方する際に肝機能の懸念が少なく済む可能性がある。 ②HIF-PH阻害薬適正使用に関するrecommendationには「血栓閉栓症は血液が急激に粘稠になることでも惹起されうるので、ヘモグロビン値の上昇速度が0.5g/dL/weekを上回らないようにする」とあるが、保存期CKD患者対象比較試験ではweek4までの週あたりのHb濃度上昇速度が0.079g/dL/週であった。 ③保存期慢性腎臓病患者及び腹膜透析患者には前治療にかかわらずエナロデュスタットとして1回2mgとなっている、印字もあるため患者の識別も高く、割線も入っており、採用規格も最少で済む。 【発売:2020年12月8日】
7	ソグルーヤ皮下注 241	皮下注	15mg	-	76,753.0	ノボノルディスク ファーマ	Somapacitan (Genetical recombination) 長時間作用型ヒト成長ホルモンアナログ製剤 ★成長ホルモン分泌不全性低身長患者の自己注射で使用 ★長時間作用型成長ホルモンで週1回の自己注射のため患者の治療アドヒアランスの改善が見込める また15mgと1本あたりの製剤量も多いため年長の患者でも自己注射の回数が1回で済む。さらに保管や運搬のスペースを確保しやすいことも利点としてあげられる。 ※院外専用医薬品でソグルーヤ皮下注5mgの採用あり ※緊急使用医薬品として購入歴あり 【発売:2024年2月16日】
7	シメチジン錠 232	錠	200mg	-	9.8	住友ファーマ	Cimetidine H2受容体拮抗剤 ★エンタビオ皮下注108mgへ採用にあたって、常備 医薬品から院外専用医薬品に変更 【発売:1982年1月18日】
7	ツートラム錠 114	錠	25mg	劇	31.0	日本臓器製薬	Tramadol Hydrochloride 慢性疼痛・がん疼痛 持続性鎮痛剤 ★ツートラム錠25mgと既存の規格を組み合わせることで今までできなかった75mg、125mg、175mgといったより細やかな用量調節が可能になる。それにより、患者に合わせた用量を設定でき、漸増、漸減時の副作用の発現の軽減が期待できる。 ★患者の年齢や体格、腎機能・肝機能を考慮し、これまで不可能であった1日あたり50mgという最小用量での使用が可能となるため副作用の軽減や認容性の獲得も期待できる。 ★それぞれ錠剤の速放部の色が規格ごとに異なっており、両面に日本語と数字が印字されているので飲み間違いの防止も可能である。 ※トラマドール塩酸塩OD錠25mg「KO」、ワトラム錠100mgは常備医薬品。ツートラム錠50mg、100mgは院外専用医薬品。 【発売:2022年12月12日】
7	リラグルーヤ皮下注 249	皮下注	18mg	劇	8,902	ノボノルディスク ファーマ	Liraglutide (Genetical Recombination) 2型糖尿病治療剤(ヒトGLP-1アナログ) ★ウーベ皮下注0.25mgSD採用にあたって、常備 医薬品から院外専用医薬品に変更 【発売:2010年6月11日】
7	テナパノール錠 219	錠	10mg	-	345.8	協和キリン	Tenapanor Hydrochloride 高リン血症治療剤 ★慢性腎臓病患者の高リン血症の治療 ★本剤は腸管からのリン吸収を阻害する作用機序であり、既存のリン吸着薬とは異なる作用により高リン血症を改善する。透析患者は水分制限が必要であるがリン吸着薬をはじめとした薬剤の服薬錠数が多いことが課題である。本剤は1日2回の用法であり、リン管理に必要な服薬負担を減らせることも期待できる。 【発売:2024年2月20日】
7	テルブタリン錠 225	錠	2mg	-	5.9	アストラゼネカ	Terbutaline Sulfate 気管支拡張剤 ★気道閉塞性障害に基づく呼吸困難等の諸症状の緩解 ★ガサイバ点滴静注1000mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更 【発売:2008年6月】
7	ツムラ葛根湯加川きゅう辛夷エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	10.1/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ2番 ★鼻詰まり、蓄膿症、慢性鼻炎 ★風邪を引き、特に鼻詰まりなどの症状が強い場合に用いる。 葛根湯に川きゅうと辛夷を加えた方剤である。 辛夷には鼻閉を改善する作用がある。 川きゅうには頭痛、身体痛、関節痛などを緩和する作用がある。 【発売:1986年10月30日】
7	ツムラ小半夏加茯苓湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	10.7/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ21番 ★妊娠嘔吐(つわり)、その他の嘔吐(急性胃腸炎など) ★妊娠時の嘔吐(つわり)に用いる。 半夏、茯苓、生姜から構成され、重篤な副作用は報告されていない。 妊娠時に用いることができる点で、臨床的に有用である。 【発売:1986年10月30日】

7	ツムラ桂枝加竜骨牡蛎湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	13.8/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ26番 ★小児夜尿症、神経衰弱、性的神経衰弱、遺精、陰萎 ★些細なことで落ち着かないなどの神経質な状態に用いる。 桂枝湯に、精神安定作用を有する竜骨と牡蛎を加えたものである。 パニック障害に用いられる。 陰萎(成人の勃起障害・性交不能症)にも用いる。 遺精(性行為を伴わない不随意の射精)にも用いる。 【発売:1986年10月30日】
7	ツムラ麻黄湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	11.4/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ27番 ★感冒、インフルエンザ、関節リウマチ、喘息 ★インフルエンザなど急性発熱性疾患初期で、炎症が強く、高熱を発している時期に用いる。 気管支喘息、喘息性気管支炎、鼻閉などに用いられる。 麻黄、杏仁、桂皮、甘草から構成される。 麻黄(主成分エフェドリン)は、中枢興奮、解熱、鎮咳、気管支拡張、抗炎症、抗アレルギー作用を有する。 【発売:1986年10月30日】
7	ツムラ大黄牡丹皮湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	13.1/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ33番 ★月経不順、月経困難、便秘、痔疾 ★保険適用上は、月経不順、月経困難、便秘、痔疾が対象疾患である。 本来は、急性虫垂炎に対する漢方薬であり、肛門炎、痔疾、皮下膿瘍などの類似病態にも応用される。 本方剤は、冬瓜子(抗炎症、排膿作用)、大黄、芒硝(瀉下作用)、桃仁、牡丹皮(駆お血作用)から構成される。 お血とは、漢方医学の独自の概念であり、血の停滞、血液凝固を意味する。 月経不順、月経困難症(月経痛)には、お血が関わると漢方では考え、桃仁、牡丹皮が症状緩和目的で使用される。駆お血作用とは血液の停滞、凝固の改善作用であり、西洋医学的には抗凝固作用である。 【発売:1986年10月30日】
7	ツムラ荊芥連翹湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	18.6/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ50番 ★蓄膿症、慢性鼻炎、慢性扁桃炎、にきび ★皮膚のがさつきを改善する四物湯の成分(当帰、川きゅう、芍薬、地黄)と皮膚の炎症を改善する黄連解毒湯の成分(黄連、黄ごん、黄柏、山梔子)をベースに、かゆみを止める荊芥、防風、白芷、炎症を抑える柴胡、薄荷、甘草を含む。 赤みを伴うニキビやアトピー性皮膚炎の急性増悪時に使用することで炎症を鎮静化する。 また、蓄膿症、慢性鼻炎など、副鼻腔や鼻腔の炎症を鎮静化する目的で使用される。 【発売:1986年10月30日】
7	ツムラよく苡仁湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	15.8/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ52番 ★関節リウマチなどの関節痛、筋肉痛に用いる漢方薬である。 よく苡仁、蒼朮、当帰、麻黄、桂皮、芍薬、甘草から構成される。 関節や軟部組織の腫脹疼痛、浮腫、浸出液貯留、筋緊張、血流障害を治療する。 ・麻黄は清熱(抗炎症)・利水(浮腫をとる)に作用し、炎症性浮腫を改善する。 ・よく苡仁、蒼朮は、利水消腫に作用し、疼痛を緩和する。 ・当帰は補血活血、散寒止痛に作用する(血流障害改善)。 ・芍薬・甘草は、筋攣縮を緩和する。(芍薬甘草湯と同薬効)。 ・桂皮は、通陽・散寒止痛・発汗解肌に作用する(気を巡らし、温め、発汗させ、冷えによる疼痛を緩和する)。 【発売:1986年10月30日】
7	ツムラ麻杏甘石湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	10.8/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ55番 ★小児喘息、気管支喘息 ★遷延性飼い咳嗽、気管支炎、気管支喘息などに用いる。 感冒に続いて気管支炎を起こし、解熱はしたが、粘稠な痰が絡んで咳き込む時に使用される。 麻黄、杏仁、甘草、石膏から構成される。 ・麻黄は抗炎症作用を持つ。 ・杏仁は咳を止め、痰を切れやすくする作用を持つ。 ・甘草は抗炎症作用を持つ。 ・石膏は清熱作用(熱を冷ます)を持つ。 【発売:1986年10月30日】
7	ツムラ女神散エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	21.8/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ67番 ★のぼせ、めまい、産前産後の神経症、月経不順、血の道症 ★更年期症候群の冷えのぼせ(下半身の冷えと上半身のほてり)、めまいの症状改善に使用される。 冷えのぼせ症状を改善する生薬(桂皮、檳榔子、丁香、木香)、ほてりを冷ます生薬(黄連、黄ごん)、ストレスを緩和する生薬(香附子)、胃腸機能を活性化し、疲労を回復させる生薬(人参、甘草、蒼朮)、皮膚のがさつきなどの血虚症状を改善する生薬(当帰、川きゅう)から構成される。 【発売:1986年10月30日】

7	ツムラ四物湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	13.5/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ71番 ★皮膚が乾燥し、色つやが悪い体質で胃腸障害のない人の次の諸症: 産後や流産後の疲労回復、月経不順、冷え性、しもやけ、しみ、血の道症 ★当帰、川きゅう、芍薬、地黄から構成される。 これらは、血虚症状(栄養障害に伴う皮膚のがさつき、貧血による冷えなど)を改善する生薬である。 血虚に対する基本方剤である。 主として、皮膚科領域と婦人科領域で使用される。 皮膚科領域では、アトピー性皮膚炎などの皮膚のがさつき、産後の皮膚のがさつき、がん患者や慢性疾患患者における栄養障害に伴う皮膚のがさつきなどの血虚症状の改善目的に使用される。 婦人科領域では、月経不順に伴う手足の冷え、出血、貧血、皮膚のがさつきなどの血虚症状の改善目的に使用される。 【発売:1986年10月30日】
7	ツムラきゅう帰膠艾湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	8.0/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ77番 ★地黄、芍薬、当帰、艾葉、甘草、川きゅう、阿膠から構成される。 痔出血、鼻出血、尿潜血など、慢性的に繰り返す出血、場所の特定が困難な部位からの微細な出血等に対する止血目的に使用される。 艾葉はヨモギの葉であり、古来より止血剤として使用されてきた生薬である。 阿膠はロバの膠(にわか、セラチン)であり、止血、補血作用を有する。 当帰、川きゅう、芍薬、地黄は四物湯の構成成分で、血虚(貧血、栄養障害による皮膚のがさつき)に用いられる。 【発売:1986年10月30日】
7	ツムラ麻杏よく甘湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	8.7/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ78番 ★関節痛、神経痛、筋肉痛 ★関節リウマチ、変形性膝関節症などによる関節痛、筋肉痛、身体痛に用いる。 麻黄、杏仁、よく苡仁、甘草から構成される。 麻黄は、清熱(抗炎症)・利尿(利尿)作用により、関節の炎症性浮腫を軽減する。 よく苡仁は、利尿(利尿)・清熱(抗炎症)・排膿作用により、浮腫を軽減し、神経痛、関節痛を軽減する。 甘草は、抗炎症に作用する。 杏仁は、消腫、利尿に作用する。 【発売:1986年10月30日】
7	ツムラ竹じょ温胆湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	28.7/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ91番 ★インフルエンザ、風邪、肺炎などの回復期に熱が長引く状態。 平熱になっても気分がさっぱりせず、咳や痰が多く、安眠できない状態。 ★感冒後などの気管支炎で不眠を伴う時に使用する。 麻黄が含有されていないため、小青竜湯などの麻黄剤で胃腸障害、排尿障害を起こす高齢者に使いやすい。 竹じょ(清熱=解熱・鎮咳)、麦門冬(滋陰・止咳)、半夏・陳皮・桔梗(止咳・去痰)、柴胡・枳実・厚朴(清熱・疎肝=ストレス緩和)、人参、甘草・生姜(補気=胃薬)、黄連(清熱・鎮静)、茯苓(精神安定)から構成される。 【発売:1986年10月30日】
7	ツムラ滋陰至宝湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	15.1/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ92番 ★慢性のせき、痰 ★虚弱者の慢性気管支炎、慢性閉塞性肺疾患、気管支拡張症などに用いる漢方薬。 慢性気道炎症における炎症を鎮静化し、鎮咳、去痰作用をもつ。 香附子、柴胡、地骨皮、芍薬、知母、陳皮、当帰、麦門冬、白朮、茯苓、貝母、甘草、薄荷から構成される。 麦門冬は、鎮咳去痰に作用される。 貝母、知母、地骨皮、柴胡は、気道の炎症を鎮静化する。 甘草、白朮、茯苓、陳皮は胃腸機能を整える胃薬である。 【発売:1986年10月30日】
7	ツムラ滋陰降火湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	17.9/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ93番 ★のどに潤いがなく、痰がでなくて咳き込む状態 ★虚弱者の慢性気管支炎、慢性閉塞性肺疾患、遷延性咳嗽などに用いる漢方薬。 乾性咳嗽に用いる点で麦門冬湯と似るが、より遷延した慢性例が対象である。 咽喉や口腔内や皮膚が著明に乾燥し、咳き込む場合に使用する。 ・麦門冬、天門冬は、滋陰止咳(気管支や肺を潤し、咳を止める)に作用する。 ・知母、黄柏は、清熱(抗炎症)に作用する。 ・知母、芍薬、当帰は、補血(がさついた皮膚を改善する)に作用する。 ・蒼朮、陳皮、甘草は胃腸機能を整える胃薬である。 【発売:1986年10月30日】
7	ツムラ柴朴湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	34.0/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ96番 ★小児喘息、気管支喘息、気管支炎、不安神経症 ★小柴胡湯と半夏厚朴湯の合剤である。 気管支喘息、気管支炎、不安障害、咽喉頭異常感症に用いる。 気管支喘息と不安神経症を合併した状態に用いる。 【発売:1986年10月30日】

7	ツムラ大防風湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	20.9/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ97番 ★関節リウマチ、慢性関節炎、痛風 ★変形性膝関節症や慢性関節リウマチなどの慢性関節炎の疼痛緩和に用いる。 関節の慢性的腫脹、疼痛、関節変形、周囲筋萎縮があり、局所の疼痛、熱感等は軽微な慢性症例に用いる。 黄耆、地黄、芍薬、蒼朮、当帰、杜仲、防風、川きゅう、甘草、羌活、牛膝、大棗、人参、乾姜、附子から構成される。 防風、羌活、川きゅう、杜仲、牛膝、附子は鎮痛作用を持つ。 黄耆、蒼朮、人参、甘草、大棗は胃薬であり、補気(食欲亢進、倦怠感改善)に併用する。 当帰、芍薬、地黄は補血(皮膚の(かさつきを治す。)に作用する。 附子、乾姜は、補陽散寒(血流を増やし、冷えを改善し痛みを取る。)に作用する。 【発売:1987年10月1日】
7	ツムラ立効散エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	10.3/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ110番 ★抜歯後の疼痛、歯痛 ★抜歯後の疼痛、歯痛、歯根の痛み、口腔内の腫脹疼痛に用いる漢方薬である。 舌の灼熱感を訴える舌痛症や口内炎などの口腔粘膜痛などにも使用される。 エキス剤を湯に溶かした液体を口腔局所にあたるように含み、しばらくしてから飲み込む。 細辛、升麻、防風、甘草、竜胆から構成される。 ・細辛は、解熱、鎮痛作用、抗アレルギー作用、局所麻酔作用がある。 ・升麻は鎮痛、鎮静、解熱、抗炎症作用がある。 ・防風は解熱、鎮痛、鎮痙、利水作用がある。 ・竜胆は抗炎症、抗菌作用がある。 ・甘草は、抗炎症、抗アレルギー作用がある。 【発売:1986年10月30日】
7	ツムラ胃苓湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	16.4/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ115番 ★水瀉性下痢、嘔吐、食あたり、暑気あたり、冷え腹、急性胃腸炎、腹痛 ★平胃散と五苓散の合剤である。 急性胃腸炎、過敏性腸症候群、機能的胃腸症などに用いる。 平胃散は、胃もたれ、胸焼け、腹部膨満感、嘔気などを目安に、機能的胃腸症、胃食道逆流症、過敏性腸症候群、急性腸炎などに用いられる。 五苓散は、水毒に用いられ、嘔吐、水瀉性下痢、などの急性胃腸炎に用いられる。 平胃散の構成生薬(陳皮、厚朴、生姜、大棗、甘草、蒼朮)と五苓散の構成生薬(蒼朮、茯苓、沢瀉、猪苓、桂皮)と博朮から構成される 【発売:1986年10月30日】
7	ツムラ茯苓飲合半夏厚朴湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	31.2/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ116番 ★不安神経症、神経性胃炎、つわり、溜飲(胃酸の逆流症状)、胃炎 ★精神的不安や精神的ストレスにより、胃腸の動きが低下し、腹部膨満感を呈する症状に用いられる。 機能的ディスペプシアの食後の胃のもたれ、早期膨満感などの症状(食後愁訴症候群)に用いられる。 本剤は、茯苓飲と半夏厚朴湯の合剤である。 茯苓飲は、胃腸の動きを促進し、嘔気、胃もたれ、腹部膨満感を改善する漢方薬であり、枳実、陳皮、生姜(理気:気を巡らせる)、蒼朮、茯苓(利水:水分の分布以上を改善)、人参(補気:元気にする)から構成される。 半夏厚朴湯は、不安神経症の症状(喉のつまり感)を改善する漢方薬であり、半夏、生姜、厚朴、蘇葉(理気)、茯苓(精神安定)から構成される。 【発売:1986年10月30日】
7	ツムラ茵陈五苓散エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	25.5/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ117番 ★浮腫、じんましん、二日酔いのむかつき、嘔吐 ★五苓散(蒼朮、茯苓、沢瀉、猪苓、桂皮)に茵陈蒿を加えたもの。 肝機能障害(横断や浮腫を伴うもの)、蕁麻疹などに用いる。 茵陈蒿には、胆汁分泌促進作用、利尿作用がある。 【発売:1986年10月30日】
7	ツムラ苓甘姜味辛夏仁湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	30.2/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ119番 ★気管支炎、気管支喘息 ★杏仁、半夏、茯苓、五味子、乾姜、感草、細辛から構成される。 麻黄を含まないため、胃腸虚弱の虚証患者のアレルギー性鼻炎、気管支炎、喘息に使用しやすいという特徴がある。 杏仁、細辛、五味子は止咳作用あり。 細辛、五味子は抗アレルギー作用あり。 【発売:1987年10月1日】
7	ツムラ黄連湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	32.3/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ120番 ★胃部の停滞感、重圧感、食欲不振、急性胃炎、口内炎、二日酔い ★上腹部痛、上腹部不快感、嘔気などの症状の緩和に用いる。 機能的ディスペプシアの心窩部痛症候群、胃食道逆流症、口内炎などに用いる。 半夏瀉心湯から、黄ごんを除き、黄連を増量して、桂皮をくわえたものである。 安中散と半夏しゃ心湯の中間的処方である。 【発売:1986年10月30日】
7	ツムラ排膿散及湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	13.4/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ122番 ★発赤、腫脹、疼痛を伴う化膿症、瘍、せつ、面疔 ★可能性皮膚疾患や刺繍組織炎(齒槽膿漏)、歯齦炎などに用いる。 桔梗、甘草、枳実、芍薬、大棗、生姜から構成される。 【発売:1986年10月30日】

7	ツムラ川きゅう茶調散エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	13.2/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ124番 ★風邪、血の道、頭痛 ★感冒時の頭痛・鼻汁・鼻閉に使用される。 ・筋緊張性頭痛、更年期の頭痛、感冒語の後の副鼻腔炎に伴う頭痛、など頭痛一般に使用される。 ・月経時、産後、更年期の頭痛、肩こり、(血の道症)にも使用される。 ・香附子、川きゅう、羌活、荊芥、薄荷、白し、防風、甘草、茶葉から構成される。 ・構成生薬のほとんどが鎮痛作用を有する。 ・薄荷、川きゅう、白し、細辛は、鼻閉症状を緩和する。 【発売:1986年10月30日】
7	ツムラ桂枝茯苓丸加よく苡仁エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	14.1/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ125番 ★月経不順、血の道症、にきび、しみ、手足のあれ ★桂枝茯苓丸を用いる状態で、皮膚症状を伴う場合に使用する。 桂枝茯苓丸は月経不順、月経困難、更年期障害の症状に対する基本方針である。 月経に伴い悪化する皮膚の荒れ、ニキビ、シミなどに使用する。 【発売:1987年10月1日】
7	ツムラ麻黄附子細辛湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	18.4/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ127番 ★感冒、気管支炎 ★内科領域では、虚弱で冷え性体質の高齢者の風邪の初期に使用される。 耳鼻科領域では、アレルギー性鼻炎に頻用される。 皮膚科領域では、寒冷蕁麻疹や凍瘡(しもやけ)に使用される。 麻黄、附子、細辛から構成される。 麻黄は、エフェドリンを含み、鼻汁、鼻漏の緩和に有効である。 細辛は、抗アレルギー作用を持つ。 附子は、新陳代謝亢進作用を持ち、冷え性を改善する目的で使用される。 【発売:1987年10月1日】
7	ツムラ啓脾湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	31.1/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ128番 ★胃腸虚弱、慢性胃腸炎、消化不良、下痢 ★胃腸虚弱者の慢性水溶性下痢に用いる漢方薬である。 腹部手術後の難治性の慢性下痢(水溶・泥状便)にも使用される。 半夏瀉心湯と併用すると、効果が増強する。 山査子は消化不良と食欲回復に作用する。 蒼朮、茯苓、人参、甘草、陳皮は、胃腸機能を高め、食欲を回復させる。 山薬、蓮肉、蒼朮、茯苓、沢瀉は、下痢を止める。 【発売:1987年10月1日】
7	ツムラ清暑益気湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	-	-	21.6/g	ツムラ	漢方製剤 ツムラ136番 ★暑気あたり、あつさによる食欲不振・下痢・全身倦怠、夏痩せ ★夏の暑さで、食欲が低下し、脱水気味、全身倦怠感が生じた高齢者の症状緩和に用いられる。 蒼朮、人参、甘草、陳皮、麦門冬、五味子、当帰、黄耆、黄柏から構成される。 蒼朮、人参、甘草、陳皮は胃の消化吸収機能を刺激し、倦怠感を回復させる。 麦門冬、五味子は滋陰、当帰は補血、黄耆は補気、黄柏は清熱・止痢を目的に配合されている。 【発売:1986年10月30日】

【2】新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品(合計4品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	ヒアレインミニ点眼液 131	点眼	0.3%	-	アイリー78mg硝子体内注射液114.3mg/mL採用の場合、削除
1	イオパロン注370シリンジ 721	注	100mL	-	イオパロン注370注「BYL」100mL採用の場合、削除
1	ゾフルーザ錠 625	錠	10mg	-	ゾフルーザ錠20mg採用の場合、削除
1	エホゾン注シリンジ 399	注	750	劇	フォセヘル錠5mg採用の場合、削除

※削除可能医薬品は、次回薬事委員会までに全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、次回薬事委員会の承認を経て、削除します。
ただし、治療に問題のある場合は、削除可能医薬品の変更等の手続きが必要となります。

【3】削除医薬品(合計6品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	ビトーザ皮下注 249	皮下注	18mg	劇	ウコービ皮下注0.25mgSD採用の場合、区分7へ移行
1	タカメット錠 232	錠	200mg	-	エンタビオ皮下注108mgへ採用の場合、区分7へ移行
1	プリカニール錠 225	錠	2mg	-	ガザイバ点滴静注1000mg採用の場合、区分7へ移行
1	オムニパーク140注バイアル 721	注	220mL	-	イオパロン注150 200mL採用のため、削除
1	ナーブロック 122	筋注	2500U	毒	リストイーゴ皮下注280mg採用のため、削除
1	パリエット 231	錠	10mg	-	デエビコ錠2.5mg採用のため、削除

【4】報告事項

1)緊急使用医薬品の薬剤部長承認について

①緊急使用医薬品(合計9品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効等
------	-----	----	----	----	----	-----	--------

11	エムプリシチ点滴静注用 429	点滴静注	300mg	劇	162,608.0	ブリストル・マイヤース・スクイブ	Elotuzumab(Genetical Recombination) 抗悪性腫瘍剤(ヒト化抗tSLAMF7モノクローナル抗体) ★多発性骨髄腫の治療★VRD療法、大量CY療法、自家末梢幹細胞移植併用大量MEL療法、Kd療法、IsaPd療法など施行後、病状進行中の患者。Isa・Pomともに合併症で継続困難であり、病状進行の抑制のため必要。 ※過去に臨時採用医薬品として採用歴あり 【発売:2016年11月18日】
			400mg		212,305.0		
11	ジスバルカプセル 119	cap	40mg	劇	2,297.0	田辺三菱製薬	Valbenazine Tosilate VMAT2阻害剤(遅発性ジスキネジア治療剤) ★遅発性ジスキネジアの治療★ジスバルは遅発性ジスキネジアに唯一適応を持つため ※院外専用医薬品として採用あり 【発売:2022年6月1日】
11	シルピスク皮下注16.6mgシリンジ 399	皮下注	16.6mg	劇	67,763.0	ユーシービー・ジヤハン	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
11	ソグルーヤ皮下注 241	皮下注	15mg	-	76,753.0	ノボ・ノルディスクファーマ	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
11	タルセハ錠 429	錠	25mg	劇	1,026.1	中外製薬	Erlotinib Hydrochloride 抗悪性腫瘍剤(EGFRチロシンキナーゼ阻害剤) ★タルセハ150mg/日で内服治療を開始し、現在まで病状は安定している。副作用の皮膚障害が強く、減量が必要と判断。抗がん剤のため分割ができない。 ※臨時採用医薬品として100mg、院外専用医薬品として150mgの採用あり 【発売:2007年12月18日】
11	ハリソジック皮下注 399	皮下注	20mg	劇	65,468.0	BioMarin Pharmaceutical Japan	Pegvaliase (Genetical Recombination) フェニルケトン尿症治療剤 ★古典的でBH4不応の患者 ★2.5mgから開始し増量中で今後20mgに増量予定 【発売:2023年5月24日】
11	リットフーロカプセル 399	cap	50mg	劇	5,802.4	ファイザー	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
11	ルマケラス錠 429	錠	120mg	劇	4,204.3	アムジエン	Sotorasib 抗悪性腫瘍剤(KRAS G12C阻害剤) ★KRAS G12C陽性の非小細胞肺癌の治療 ★がん化学療法後、原発巣の縮小はみられたが、新規転移と転移巣の増大を認めPDと判断 ★KRAS遺伝子変異陽性非小細胞肺癌に対する分子標的薬の採用がないため 【発売:2022年4月20日】

※緊急使用医薬品は、薬剤部長が申請者に対しアリンクを行った上で、薬剤部長が決裁を行うこととされています。ただし、継続して使用する場合は、次回の薬事委員会において、採用区分に沿った正式な申請を行うこととなります。

2)販売中止に伴う代替薬の採用について

販売中止薬	代替薬	
アトロピン硫酸塩注0.5mg「タナベ」(95.0円)	→	アトロピン硫酸塩注0.5mg「ニプロ」(95.0円) 2024年4月19日切替済
ジピリダモール錠25mg「日医工」(5.8円)	→	ジピリダモール錠25mg「トーワ」(5.8円) 2024年3月14日切替済
炭酸リチウム錠100「ヨシトミ」(5.9円)	→	炭酸リチウム錠100「大正」(8.9円) 2024年3月14日切替済
炭酸リチウム錠200「ヨシトミ」(5.9円)	→	炭酸リチウム錠200「大正」(12.6円) 2024年3月14日切替済

3)供給停止に伴う処方オーダー一時停止について

供給停止	
ニコランジル点滴静注用12mg「サワイ」(360.0円)	→ 2024年3月19日処方オーダー停止

4)供給停止解除に伴う処方オーダー再開について

2024年3月19日処方オーダー一時停止	→	ニコランジル点滴静注用12mg「サワイ」(360.0円) 2024年4月23日処方オーダー再開
----------------------	---	---

5)供給量回復に伴う院内処方オーダー再開について

2024年1月5日院内処方オーダー一時停止 ※コロナール錠500を粉碎化・小数入力可へ	→	コロナール細粒20%(7.1円/g) 2024年4月10日処方オーダー再開 ※コロナール錠500を粉碎化・小数入力不可へ
--	---	---

6)A-1病棟における『ミダゾラム注10mg「NIG」』の限定オーダー開始について

ミダゾラム注10mg「サンド」	→	ミダゾラム注10mg「サンド」(下記以外の病棟)
	→	(A-1)ミダゾラム注射液10mg「NIG」 2024年4月23日処方オーダー開始

7)A-1病棟における『ナファモスタットメシル酸塩注射用50mg「AY」』の限定オーダー開始について

ナファモスタットメシル酸塩注射用50mg「AY」	→	ナファモスタットメシル酸塩注射用50mg「NIG」(下記以外の病棟)
	→	(A-1)ナファモスタット注射用50mg「AY」 2024年4月19日処方オーダー開始

※取り扱いに注意を要する薬剤について下記区分を記載しています。

麻:麻薬、毒:毒薬、劇:劇薬、向:向精神薬、特生:特定生物由来製品、生:生物由来製品(20年間記録保存が必要な薬剤に限る)、ハイリスク:当院における医療安全上注意を要する薬剤

※採用区分(1:常備医薬品、2:救急用医薬品、3:製剤原料用薬品、4:自由診療医薬品(薬価基準非収載医薬品)、5:再生医療等製品、6:臨時採用医薬品、7:院外専用医薬品、8:臨床研究用医薬品、9:特例承認医薬品、10:放射性医薬品、11:緊急使用医薬品)